



■香取警察署
多古幹部交番所長
山下 益男さん

「子どもたちを見守る ためにご協力を」

子どもたちを見守る防犯活動。今、全国で地域住民の方々、行政の方々、教職員の方々、そして当然、われわれ警察が協同して子どもの安全に取り組んでいます。

平成13年1月、大阪府池田小学校における悲惨な事件。その後、長崎県・栃木県・奈良県など、全国的に子どもたちの尊い命が無残にも、簡単に奪われる事件が多発しています。これらの事件を、誰が予想できたでしょうか。

現代は車社会。外国人犯罪も多い時代。どこで誰が被害に遭うか分からない時代一。

「この地域では絶対に大丈夫」という考えは禁物です。犯罪は、われわれ大人が協同して防ぐしかありません。最大の武器は皆さんの目、そして声掛けです。多古町の子どもたちを守り、絶対に被害者を出さないために、5分間でも結構ですから、通学時間帯や子どもの遊び場所に目を向けていただき、不審な人や車を見たら、躊躇せず、警察に連絡してください。

プロフェッショナルの目



■スクールガード
リーダー
鈴木 靖さん
(水戸)

「何かをしながら 目を向ける」

スクールガードリーダーの委嘱を受け、小学校などを巡回していますが、子どもたちから逆に元気もらっています。

子どもを取り巻く環境が悪化している今、学校では、子どもたちに「自分の命は自分で守る」という安全教育を、繰り返し指導しています。「行かない」「乗らない」「大声を出す」「すぐ逃げる」「知らせる」の5つの約束『イカ・ノ・オ・ス・シ』を、自分の身を守る『心の鍵』としていつまでも、子どもたちには持ち続けてもらいたいと願っています。

犯罪者は人間関係の希薄な地域を狙っています。犯罪を防止するには地域の連携が大切で、犯罪の抑止に効果があるのは人々の目です。例えば「あいさつ運動」。普段見かけない人へのあいさつの一声は、防犯にも効果があります。そして「～ながら防犯活動」。登下校の時間帯に合わせて犬の散歩や日なたぼっこ、農作業等しながら、通学路や子どもたちに皆さんの目を向けてみてはいかがでしょうか。

●地域の目

配達などの仕事で町内を回るとき、防犯パトロールを兼ねて目を光らせてくれる方々も。今年度から、町では「多古町防犯パトロール協力隊」として協力いただける団体等と覚書を交わし、車両用マグネットシートを交付しています。その第一号となった「千葉県LPガス協会香取支部西部ブロック多古地区」

町防犯パトロール協力隊 「LPガス協会香取支部 西部ブロック多古地区」

日ごろ、ガスの配達などで地域を回っている皆さん。以前から、訪問先で聞く痴漢や空き巣、振り込め詐欺の体験談など、身近に潜む多くの危険に驚くとともに、自分が耳にした不審情報を各訪問先で伝えていました。「多古で生まれ、育ち、営業しているわれわれ。何か故郷に恩返しができないかと、みんなで考えていたんです」と話すのは、理事の加瀬一也さん。ガスの安全な使い方などの啓蒙活動を業務の一環として行っている皆さんは、仕事と兼



話を伺った加瀬一也さん(牛尾/写真左)と石川清さん(栗田)『町防犯パトロール協力隊』として、ご協力いただける団体等は総務課☎76-2611までご連絡ください。

ねた「防犯パトロール」を行うことで、全体的な安全の啓蒙に取り組もうと考え、平成19年8月に町と覚書を交わしました。「もともと、毎日仕事で地域を回っていますから、新たな労力が必要な訳じゃない。今までやっていただけなのに、少しだけ別の目線を加えただけです。この活動が犯罪の抑止力になり、さらに、ほかの団体にも広がってほしいですね」と、加瀬さんは話していました。

●目への取り組み

多古町青少年健全育成パイロット事業と連携した全町的なパトロール活動も行われています。パトロールに参加しているのは、町内の小・中学校および多古高校の職員と各校PTA、子ども会育成連絡協議会、青少年相談員、主任児童委員、パイロット事業協力者の方々と教育委員会・役場の職員です。毎週金曜日の夕方から夜にかけて「青色回転灯」を設置した車両を利用して、町内パトロールを実施しています。また、パイロット事業では毎週月曜日の「さわやかおはようタイム」で、交通安全指導とあいさつ運動も行っています。



青色回転灯設置車によるパイロット事業パトロール

安全で安心なまちづくり

これまで、町ではパイロット事業と連携した青色回転灯設置車両によるパトロールや防犯灯設置、小学校新入生への防犯ブザー配布など、子どもの安全確保対策に取り組んできました。また、行政の取り組みだけでは限界があるため、防災行政無線で「下校時刻です。見守りにご協力ください」と地域への呼び掛けも行っています。

今後、町では生活安全条例を制定する予定です。その目的は、町民の地域安全に関する意識を高め、自主的な活動を推進することで犯罪・事故等を未然に防ぎ、住みよい町を実現すること。安全で安心なまちづくりには、地域の皆さんの協力が欠かせないのです。



地域の安全に役立つ「防犯灯」の寄贈



地域の安全のため、防犯灯を各市町村へ寄贈している東京電力成田支社から今年度、多古町も3基いただきました。この3基は、飯笹地区の地方主要道横芝下総線沿いに設置する予定です。

あとかき

私たちが子どものころ、学校からの帰り道は、友達と遊びながらのとても楽しい時間でした。また家に帰れば、暗くなるまで友達と外で遊んでいたものでした。理想は、子どもたちだけでも、安心して登下校でき、外で思いっきり遊べる地域の実現。しかし、それは一朝一夕にできることではありません。まずは「無理なく自分ができること」から始めてみませんか。